

## 『心に残る文化財こども塾』学習指導案

日 時：令和4年7月1日（金）

14：05～14：50（5校時）

場 所：松江市立佐太小学校 体育館

対象者：6年生19名

指導者：6年部教職員3名

古代出雲歴史博物館 是田敦

1. 主 題 奈良時代と奈良の大仏

2. ねらい

- ・「奈良の大仏」について体験的、専門的に学び、その巨大さとともに、大仏に込められた先人の思いについて触れ、歴史に対する興味・関心を高める。

3. 展開

学習課題	指導者の支援及び留意点
①講師紹介と本時の流れを確認する（2分）	・担任が担当 ※銅鐸や銅剣の模造品を紹介し、事前に行った遺跡巡りの体験を想起させ、歴史への関心を高める。
②奈良の大仏、体験内容等の説明（5分） ○奈良の大仏についての説明を聞く ○大仏の制作技術について説明 ○パネルの組み立ての手順を説明	・歴博の先生が担当 ※事前に「大仏パネルクイズ」を行っておく。 ・手順、注意点を説明してイメージをもたせる。
③大仏パネルの組み立て体験（20分） ○大仏の巨大さについて体験を通して学ぶ ○1m四方の部品のパネルをパズル形式で組み立て、高さ18mの大仏を完成させる。	・大仏パネル組み立て時には、靴を脱ぐ。 ・児童が協力して作業する。 ・完成後に体育館の2階から完成状況を確認。 ・記念撮影
④まとめ ○学習の振り返り	・質問や感想を受け付ける。
⑤片付け（15分）	・手分けしてパネルの消毒を行う。

4. 準備物

小学校：作業用手袋、長机2台、ペーパータオル、カメラ

博物館：大仏パネル、アルコールボトル5本、アンケート、白布、ガムテープ、銅鐸、銅剣の模造品

5. その他

- ・13：00 是田先生来校
- ・13：15～ 大仏パネル準備（児童も参加する）